

授業科目	日本語表現と 論理的思考	担当 教員	外部講師 山田 丈美	単位数	1	時 期	1年次 4月～7月	DP	1
				時間数	30				
目的と 目標	<p>本科目では、日本語の基礎知識と効果的な表現技法を習得するとともに、論理的思考について体系的に学び、論理的に表現する能力を養う。</p> <p>1 日本語の特質と基礎知識について学び、効果的な表現技法を習得する。 2 論理的な思考様式を身に付け、それを表現できる話す力・書く力を養う。</p>								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1	論理的思考とその表現のプロセス	(1) 思考と論証 (2) 根拠から導出する結論			講義	外部講師 (山田丈美)			
2	接続表現一文のつなぎ方	(1) 文と文の接続 (2) 順接の接続 (3) 逆接の接続 (4) 接続詞を用いた論理的文章			講義				
3	分かりやすい文にするための表現の工夫	(1) 意味の限定 (2) 言葉の順序 (3) 一文一義の書き方			講義				
4	定義・分類の表現	(1) 定義の表現 (2) 性質・機能・特徴を述べる表現 (3) 分類する表現 (4) 例を挙げる表現 (5) 状況を述べる表現			講義				
5	比較・対照する表現	(1) 共通点と相違点 (2) 比較と対象 (3) 数量と変化			講義				
6	列挙・順序・因果関係の表現	(1) 物事を列挙する (2) 順序を示す (3) 因果関係を示す			講義				
7	論理的に考える方法— 帰納的論証	(1) 根拠と結論と導出の関係 (2) 事実と考え (3) 論証における飛躍 (4) トゥールミンの論証モデル (5) 帰納的論証			講義				
8	論証を図で示す	(1) 論証のタイプ (2) 論証間の関係 (3) 論証図			講義				
9	論理的に書く	(1) 骨格作りのためのブレイン・ストーミング (2) パラグラフ構造 (3) レポートの構成			講義				
10	引用の表現と文献リスト	(1) 記号の使い方 (2) 引用のルール			講義				

回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員
11	敬語表現の基本と注意すべき敬語表現	(3) 文献リスト (ハーバードスタイルとバンクーバースタイル) (1) 丁寧語 (2) 尊敬語 (3) 謙譲語 (4) 尊敬語と謙譲語の取り違い (5) 多重敬語	講義	外部講師 (山田丈美)
12	手紙の書き方	(1) 手紙の書き方の基本 (2) 手紙を書く	講義	
13	敬語のロールプレイ	(1) 役割演技 (2) 場面設定	演習	
14	論理表現の演習	(1) 医療場面における論理的な話し方 (2) 生活場面における論理的な話し方	演習	
15	試験			
評価方法	筆記試験 90 点、授業態度 (演習) 10 点 合計 100 点			
教科書 参考文献	看護学生が身につけたい論理的に書く・読むスキル (医学書院) 大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版 (風間書房) APA に学ぶ看護系論文執筆のルール (医学書院)			
事前準備や 受講要件等				

授業科目	情報リテラシー I	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1 年次 4 月～10 月	DP	1	
			深井 英和	時間数	30					
目的と目標	<p>計算機およびインターネットのしくみを理解したうえで、必要な情報を入手し、理解し、評価して活用できる能力を養う。</p> <p>1 看護において適切に ICT を利用するための基礎知識と技能を習得する。</p> <p>2 必要な情報を入手し、理解し、評価して活用する方法を理解する。</p> <p>3 情報を伝達する手段として、プレゼンテーションの基本を習得する。</p>									
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員				
1	計算機の仕組みの理解	(1) 2 進数と 16 進数			講義	外部講師 (深井英和)				
2		(2) 論理演算、計算機の仕組み			講義					
3		(3) 2 進数と 16 進数、および論理演算の演習			演習					
4	看護における情報リテラシー	(1) インターネット、電子メール、ウェブページ			講義					
5		(2) 安全にインターネットを使うための基礎知識			講義					
6		(3) 個人情報とプライバシー、病院情報システム			講義					
(7 回目以降は情報リテラシー II の後に実施)										
7	ワープロソフトと表計算ソフトの使い方	(1) Microsoft Word の基本的な使い方			演習					
8		(2) Microsoft Excel の基本的な使い方			演習					
9		(3) Microsoft Excel による統計解析			演習					
10	医療情報の収集	(1) 文献検索の方法 (2) 文献データベースについて			講義					
11	PowerPoint によるプレゼンテーションの方法	(1) プレゼンテーションの方法と技術			講義					
12		(2) プレゼンテーション資料作成 (1)			演習					
13		(3) プレゼンテーション資料作成 (2)			演習					
14		(4) 成果発表			演習					
15	試験 (1 時間)									
評価方法	演習課題および試験により総合的に評価する 100 点									
教科書 参考文献	資料を配布する									
事前準備や 受講要件等										

授業科目	情報リテラシーⅡ	担当教員	外部講師 深井 英和	単位数	1	時期	1年次 5月～7月	DP	1
				時間数	30				
目的と目標	<p>西洋医学の基本である統計学の学習を通じ、統計的なものの見方・考え方、および統計的分析方法の基礎を身につける。</p> <p>1 確率論と統計学の基礎を身につける。</p> <p>2 仮説検定の基礎を理解する。</p> <p>3 表計算ソフト（Microsoft Excel）による表の計算、データの可視化、簡単なデータ分析ができる。</p>								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1	序論	(1) 科学と西洋医学			講義	外部講師 (深井英和)			
2		(2) 科学的方法と統計学			講義				
		(3) 確率計算の復習							
3	記述統計	(1) 代表値、平均、分散、標準偏差、ヒストグラム			講義				
4		(2) 多変量データ、共分散、相関			講義				
5		(3) 回帰分析			講義				
6		(4) エクセル演習（データの可視化、共分散、相関）			演習				
7		(5) エクセル演習（回帰分析）			演習				
8	確率論	(1) 確率変数と確率分布			講義				
9		(2) 様々な確率分布、統計量の計算			講義				
10	統計的推測	(1) 正規分布を用いた統計計算			講義				
11		(2) 正規分布に関する演習			演習				
12	仮説検定	(1) 仮説検定の基礎、帰無仮説、有意水準			講義				
13		(2) t 分布を用いた検定			講義				
14		(3) エクセル演習（仮説検定）			演習				
15	試験（1時間）								
評価方法	課題、演習、試験により総合的に評価する 100点								
教科書 参考文献	資料を配布する								
事前準備や 受講要件等									

授業科目	倫理学	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1年次 9月～12月	D P	2
			岩井 謙太郎	時間数	30				
目的と目標	倫理学とは、「人間の在り方」を問う学問であるともいえる。具体的には、西洋倫理学の基本的な考え方や現代倫理学の諸問題を通して、生命の尊さ、人間尊重の態度を培う。 1 倫理的判断の基礎を理解する。 2 現代社会における倫理学の課題について考究する。 3 専門職業人としての倫理観を培う。								
回数	学習課題	内 容				方 法	担当教員		
1	倫理学とは	(1) 倫理学とはいかなる学問か (2) 倫理と道徳について (3) 人間の持つ二面性 (4) 人間観の歴史と基本的人権				講義	外部講師 (岩井謙太郎)		
2 3 4	近代までの西洋倫理思想	(1) 古代の倫理思想 (2) 中世の倫理思想 (3) 近代の倫理思想				講義			
5	現代倫理思想	(1) 社会主義と倫理 (2) 実存主義と倫理 (3) 現代のヒューマニストたち				講義			
6 7	環境倫理	(1) 開発と自然破壊 (2) 地球温暖化 (3) 母乳汚染 (4) 遺伝子組み換え食品、偽装問題 (5) 環境問題への対応				講義 演習			
8 9 10 11	生命倫理	(1) 生命の尊厳と人権問題 (2) 臓器移植・脳死からの課題 (3) 安楽死・尊厳死からの課題 (4) クローン問題 (5) 不妊治療の課題 (6) 患者の権利と自律、インフォームド・コンセント				講義 演習			
12 13 14	職業倫理	(1) 人権擁護 (2) マスコミと倫理 (3) 企業と倫理 (4) 公務員と倫理 (5) 看護倫理				講義			
15	試験（1時間） まとめ（1時間）	(1) 筆記試験 (2) まとめ				試験 講義			
評価方法		筆記試験 100点							
教科書 参考文献		資料を配布する							
事前準備や 受講要件等									

授業科目	家族社会学	担当教員	外部講師	単位数	1	時期	1年次 10月～12月	DP	1
			神戸 博一	時間数	30				
目的と目標	<p>家族看護について必要な理由、発展、理念、実践を学ぶ。さらに現代家族の構造と機能、多様性と家族課題（ジェンダー役割、子育て、高齢化）について考察し、理解を深める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 家族看護について理解する。 2 家族の基本概念や類型を理解する。 3 家族の歴史や変化、現代社会の多様性を理解する。 4 現代の結婚と離婚について理解する。 5 高齢化と少子化の問題と対策について理解する。 								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1	家族看護学について	(1) 学ぶ理由、その発展と変遷			講義	外部講師 (神戸博一)			
2	家族看護学について	(2) 家族看護の特徴について			講義				
3	家族看護学について	(3) 家族看護の理念について世帯			講義				
4	家族看護の実践	(1) 疾患を持つ家族 (2) ライフサイクル			講義				
5	家族のとらえ方	(1) 隣接学問 (2) 看護学			講義				
6	家族の構造	(1) ジェノグラム (2) エコマップ			講義				
7	家族機能	(1) 育児機能			講義				
8	家族機能	(2) セルフケア機能			講義				
9	家族機能の変化	(1) ダブルケア (2) モデル			講義				
10	現代家族の形態の変化	(1) 世帯 (2) 人口			講義				
11	現代家族の多様性	(1) 出生率			講義				
12	現代家族の多様性	(2) 結婚			講義				
13	現代家族の課題	(1) ジェンダー役割 (2) 子育て			講義				
14	家族の発達段階	発達段階の特徴と課題			講義				
15	家族システム論	重要な概念			講義				
試験 (1時間)									
評価方法	筆記試験 (持ち込みなし) 100点								
教科書 参考文献	系看基礎分野 家族看護学 (医学書院)								
事前準備や 受講要件等	教科書を読んで講義に臨むこと。								

授業科目	人間関係論	担当教員	外部講師 ①益川 優子 ②伊藤 享子	単位数	1	時期	1年次 6月～9月	DP	1
				時間数	15				
目的と目標	<p>自分自身、自分を取り巻く環境及び自己と環境との関係を多面的にとらえることを通して、現代における人間の存在に意味づけを行う。その上で、さまざまな人々との関係をよりよく構築する方法を身につける。</p> <p>1 自分自身を知る。 2 自己に影響を与える他者についての自己の認識とそれが他者に及ぼす影響を理解する。 3 人の態度と行動に影響する要因について理解する。 4 よりよい人間関係を築く方法を理解する。</p>								
回数	学習課題	内 容				方 法	担当教員		
1	日常生活におけるコミ	(1) 挨拶、案内、電話対応など				講義 演習	外部講師 (伊藤享子)		
2	ュニケーション	(2) ユニバーサル・コミュニケーション							
3	人間関係の中の自己と 他者	(1) 人間関係論とは (2) 自己認知 (3) 対人認知				講義 演習	外部講師 (益川優子)		
4	対人関係と役割	(1) 対人関係の成立 (2) 対人関係の維持と崩壊 (3) 対人葛藤と対処 (4) 社会的役割							
5	態度と対人行動	(1) 態度と態度変化 (2) 説得的コミュニケーション (3) 攻撃 (4) 援助							
6	人間関係の構築方法	(1) コミュニケーションとは							
7		(2) カウンセリングと心理療法 (3) コーチング (4) アサーティブ・コミュニケーション							
8	試験 (1時間)								
評価方法	筆記試験 (3～7回) 100点								
教科書 参考文献	系看基礎分野 人間関係論 (医学書院)								
事前準備や 受講要件等									

授業科目	岐阜の理解と 地域貢献	担当教員	専任教員 外部講師 ①岐阜市職員 ②統計課職員 ③保健医療課職員 ④医療整備課職員 ⑤岐阜市社協職員	単位数	1	時期	1年次 6月～12月	DP	5 7
			時間数	15					
目的と目標	地域の特徴を知り、県民の健康維持・増進を担うものとしての使命感を育む土台とする。 1) 岐阜の特徴・魅力について知る。 2) 岐阜県の健康に関する課題と保健医療施策について知る。 3) ボランティアの概念を理解し、地域の一員として地域社会への貢献について考える。								
回数	学習課題	内 容			方 法	担当教員			
1	岐阜の理解	(1) 岐阜の歴史、文化、慣習などの特徴・魅力			講義	外部講師 (岐阜市職員)			
2		(2) 岐阜県における人口動態 (人口構造、高齢化率、外国人人口、将来推計など) (3) 県民の生活様式・生活習慣に関する動向 (地理的特徴、経済、交通、食生活、運動習慣など) (4) 県民の健康に関する動向 (死因、平均寿命、健康寿命、受療状況、疾病構造、疾患の要因の地域特性、医療従事者数、医療機関等)			講義	外部講師 (統計課職員)			
3		(5) 岐阜県の保健医療施策 ①健康増進施策の展開について ②医療提供体制施策の展開について			講義	外部講師 (保健医療課職員) (医療整備課職員)			
4	地域社会への貢献	(1) ボランティアとは (2) さまざまなボランティア活動の実際 (3) ボランティア活動への参加方法			講義	外部講師 (岐阜市社協職員)			
5	(1時間)	(4) 地域貢献活動の実際 ①生活の中で地域や地域に暮らす人々の課題 (気がかりなことなど)をあげる。 ②地域のボランティア募集情報などから、地域における課題を考える。 ③地域貢献のための活動を計画する。			演習	専任教員 ()			
6		*地域の課題への気づきなどから活動につなげるとよい。 ボランティア活動、地域の魅力探しなど、地域貢献のための活動を検討し、個人やグループで取り組む。			演習				
7		(5) 地域貢献活動の実際 (7月～12月) (6) 活動の振り返り (発表準備・発表)			講義				
8		*活動の実践報告 活動を通して何を感じ学んだか。 地域住民の一人としての地域貢献に対する展望を語る。			演習				
評価方法	レポート 100点 「岐阜の特徴・魅力と地域住民の一員としての地域貢献について」								
教科書 参考文献	資料を配布する								
事前準備や 受講要件等									

授業科目	異文化理解と多様性	専任教員 外部講師 ①KANKANIGE・ERANGA・HASANTHI ②宮本レナト ③	単位数 1	1	時期 2年次 6月～7月	DP	1
目的と目標	諸外国の人々の生活を知り、看護の対象となる人々の生活の多様性（ダイバーシティ）を理解する。 1 諸外国の人々の生活の実際と諸外国の保健・医療・福祉の現状と課題を知る。 2 文化や価値観の異なる人々への理解を深めていくための方策について考える。						
回数	学習課題	内 容	方 法	担当教員			
1 2	さまざまな国の人々の生活（スリランカ）	1) スリランカの人々の生活 ①地理（位置、面積、首都、気候） ②人口、民族（総人口と人口動態、性別および年齢層別人口、民族構成、都市と地方の人口動態） ③文化、言語（宗教、言語と種類、習わしおよび生活習慣など） ④歴史（近年の状況、占領や戦争など） ⑤政治と行政（政治体制、行政体制、女性の政治への進出状況など） ⑥経済（おもな産業と産業構造、GDP、失業率、職業形態、女性の就労など） ⑦教育（識字率、教育制度、女性の教育状況など） ⑧物理的環境（交通手段と交通網、通信網、電気、上水道などの飲料水の入手、下水道、公共施設、住居の形態など） ⑨レクリエーション（祭り、結婚式および葬式などの式事、集会の開催と場所） ⑩情報（入手方法、ラジオやテレビの普及率、携帯電話やインターネットの利用状況など） ⑪保健医療システム ⑫疾病構造と死因 ⑬保健指標（平均寿命、死亡率、合計特殊出生率、将来人口推計など） ⑭看護師の教育体制、看護師の仕事	講義	外部講師 （エランガ）			
3 4	さまざまな国の人々の生活（ブラジル）	2) ブラジルの人々の生活 1) ①～⑭と同様	講義	外部講師 （宮本レナト）			
5 6	さまざまな国の人々の生活（フランス）	3) フランスの人々の生活 1) ①～⑭と同様	講義	外部講師 （ ）			
7 8	まとめ （3時間）	1) 日本に在留する外国人の生活 2) 文化や価値観の異なる人々の理解	講義	専任教員 （ ）			
評価方法	レポート 100 点「文化や価値観の異なる人々の理解のための方策について」						
教科書 参考文献	資料を配付する						
事前準備や 受講要件等							

